

# みんなの鳥獣対策



浪江町有害鳥獣捕獲隊委嘱状交付式の様子  
今年度は6名で町内の捕獲活動を実施します。

## 地域の暮らしを守る捕獲隊の 仕事を取材しました！

### ■捕獲隊の主な活動内容■

町内の避難指示解除区域で2人1組体制で捕獲活動を実施しています。イノシシやサル、ハクビシン、アライグマなどの捕獲活動を行っています。箱わなの設置、見回り、エサの確認、周辺の草刈りなどを行い、動物が生活圏や農地に入り込みにくいように活動しています。

## 捕獲隊の活動、知っていますか？

—— 捕るだけではない、地域を守る現場の工夫 ——



手前に掘り起こしが多くても、箱わなは奥の平らな場所の方が捕獲しやすいことがあります。



ICT 機器を使って捕獲を実施する様子

**Q** 住民の捕獲依頼には  
どのように対応していますか。

**A** 住民の方から被害や目撃の相談があった場合は、役場から捕獲隊へ情報共有し、必要に応じてわなを設置しています。依頼された場所にそのまま設置することもあります。動物の通り道や周辺の状況を確認し、近くでより捕獲しやすい場所に設置することもあります。被害を減らすため、現場に合わせて効果的な対応を行っています。

**Q** 箱わな設置場所の決め方を教えてください。

**A** 足跡や掘り起こし、動物の通り道を見ながら決めていきます。捕獲してほしい場所と、実際に捕獲しやすい場所が少し離れている場合もあります。そのため、現場を確認しながら、より効果が出やすい場所を選んでいきます。

**Q** 少人数で活動するための  
工夫を教えてください。

**A** 捕獲隊は少人数で活動しているため、センサーカメラや通信機器などのICTを活用し、効率よく見回りや捕獲を行っています。こうした工夫により、イノシシの捕獲頭数は令和6年度の65頭から、令和7年度は142頭に増えました。限られた人数でも、効果的に活動できるよう取り組んでいます。



箱わな周辺の除草作業の様子



箱わなセット時の様子

Q

活動で気をつけていることはありますか。

A

個人の所有地に箱わなを置かせていただくことから、土地所有者や地域の方への声かけや気配りを大切にしています。また、箱わなの周りの草を刈ったり、土地を荒らさないようにしたり、見回りしやすい環境を整えながら活動しています。

Q

捕獲活動の難しさは何ですか。

A

動物は警戒心が強く、箱わなを置けばすぐに入るわけではありません。箱わなの向きやエサの置き方を変えたり、しばらく様子を見たりしながら、少しずつ調整しています。動物の動きや季節ごとの変動を敏感に感じることが大切です。

Q

今後の意気込みを教えてください。

A

地域の安全を守るため、これからも一つ一つの現場にしっかり向き合っていきます。捕獲隊の活動は大変なことも多いですが、好きだからこそ続けてこられました。住民の皆さんが安心して暮らせるよう、これからも全力で取り組みます。わなの設置や見回りは、地域の皆さんの理解と協力があって成り立つ活動です。安全のためにも、引き続きご理解とご協力をお願いします。



申込、被害報告は  
二次元コードから



講習会  
申込フォーム



被害連絡フォーム



■ 申 込  
6月12日(金)までに電話または  
左記の二次元コードからお申  
し込みください。



② 町内で働いている人  
※ 追い払い花火の実演は18歳  
以上の人のみとなります。



■ 対 象  
① 町内在住者（お子さんも大  
歓迎）



■ 内 容  
① 町内のニホンザルの特性に  
ついて



■ 日 時  
6月16日(火) 10時～11時



■ 場 所  
浪江町防災交流センター  
（常磐自動車道浪江IC東側）



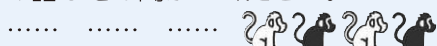
町内のサル群れの説明と追い  
払い花火の実演講習会を左記の  
日程で開催します。

ニホンザル追い払い等  
講習会の開催



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人  
ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜ  
ひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係  
TEL 0240(34)0246



## 農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ  
でもご覧いただ  
けます

